



# 沈殿物のオーバーフロー防止に、堆積量の常時監視に、超音波で正確に計測します。

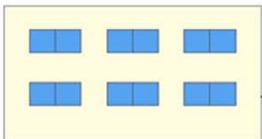
## 特徴

- さまざまな排水処理施設に対応可能、槽内の沈殿物をリアルタイムに認識
- 界面レベルを判別し易い、カラー液晶採用
- 沈殿物のリアルタイム画像を見ながら、最適な界面計測レベルに設定
- Bモード表示でランダムノイズ・浮遊物・泡の影響など異常動作の確認
- 簡単な設置、[電源]・[センサー]・[出力]のシンプルな配線

## 用途

- 上下水道・発電所・工場・浄排水処理施設などで発生する汚水沈殿物の計測
- 河川・湖沼・貯水池などのヘドロ、泥、土石などの堆積量の計測
- 水槽、タンクなどのスラッジの堆積量の計測

### 管理棟



### 4-20mA 出力

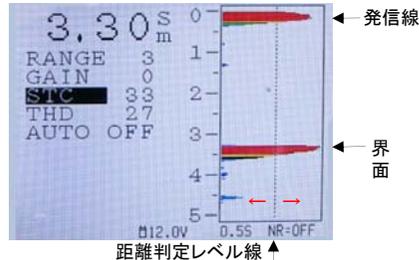
ほとんどの管理施設では4-20mA出力を標準の計測値伝送の手段としております。

4-20mA出力は直流の電流制御のため、離れた設置場所からのケーブル抵抗も測定誤差から排除され、ノイズによる誤動作も少なく安定した計測が可能となります。

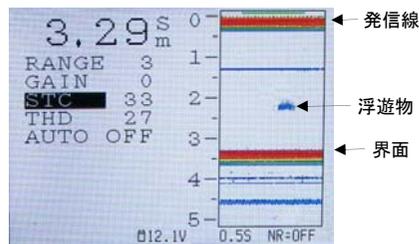
本機は任意に設定した堆積上限レベルに達したとき22mAに、反射が検出されないときには22mAまたは2mAに電流を制御し管理できます。

### 表示モード

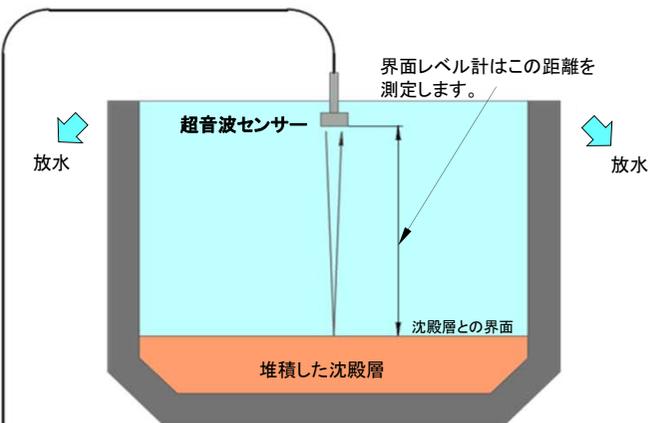
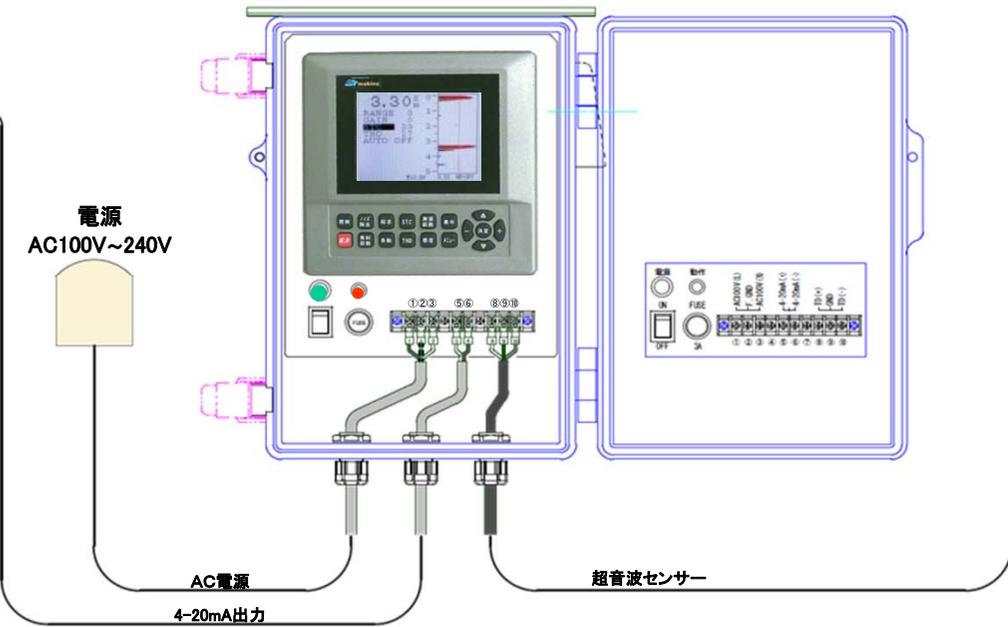
Aモード表示 標準設定画面



Bモード表示 経過画像の表示、浮遊物、ノイズの確認



### 本体 (ディスプレイ、設定キー、接続端子) 内部構成



### 操作パネル

簡単な操作で画面を確認しながら細やかな設定が行えます。



### キーボード

電源	計測装置側の電源のON/OFFをします。
表示	画面のA/B表示モードを切替えます。
メニュー	表示モードと設定メニューの切替えをします。
測深範囲	水槽の深さにより計測範囲を変更します。
感度	超音波の受信感度を変更します。
STC	表面部のノイズや浮遊物の影響を緩和します。
THD	計測画面で界面の計測レベルを設定します。
起点	堆積物の距離をセンサーからの距離にするか槽底からにするかの選択をします。
自動	感度の自動設定をします。
ノイズ除去	水槽内で発生するランダムなノイズを除去します。
発射回数	計測する超音波の発射回数(発射間隔)を選択します。
照明	液晶表示器の明るさを変えます。
+	数値の設定、条件設定の変更をします。
▼ ▲	メニューの設定項目の選択をします。
決定	数値設定、条件設定の決定をします。

### メニュー

豊富なメニューでさまざまな水槽に対応できます。

※警告音は本体内で発生します。4-20mAを接続せずに単独でのご利用の際にご利用ください。

MENU-1 槽内の条件設定をします。	
FULL	最小検出距離で界面がこの設定値になると警告を発生します。4-20mA出力は22mAを出力します。
EMPTY	センサー面より水槽の底までの距離を設定します。
20mA	4-20mA出力の[20mA出力]の距離を設定します。
4mA	4-20mA出力の[4mA出力]の距離を設定します。
UPPER ALM	堆積物の上限を入力し上限に達すると警告を発生します。
LOWER ALM	堆積物の下限を入力し下限に達すると警告を発生します。
4-20mA T/C	4-20mAの応答速度を設定します。
DISPLAY	SURFACE / BOTTOM 計測起点を切替えます。
UNIT	METER / % 計測単位を切替えます。
4-20mA INVALID	界面が検出できないときの4-20mA出力を(2mA / 22mA / HOLD) から設定します。
STC	設定距離までの感度をSTCの値に固定します。

MENU-2 計測に必要な条件設定をします。	
WINDOW	測定距離の更新の際の範囲を設定します。浮遊物などによる誤動作を防ぎます。
DED. SIZE	AUTOにおいて、制御する反射の幅を設定します。
AVERAGE	距離表示の平均サンプル値を設定します。
FREQUENCY	超音波の送信周波数を設定します。
WIDTH	送信パルスのパルス幅を設定します。
INTERVAL	送信パルスの発射間隔を設定します。
VELOCITY	水槽内の液体の音速を設定します。
OFFSET	送受信機の遅れの補正値を設定します。
SLEEP	画面を非表示にするまでの時間を設定します。
BATTERY ALM	内部電源電圧低下時の警告電圧を設定します。